

オオアゼスゲ*Carex thunbergii* Steud.
var. *appendiculata* (Trautv.) Ohwiカヤツリグサ科
Cyperaceae**カテゴリー**大分県 IA
環境庁 掲載なし**選定理由** 県内では泥炭湿原を生育地とするが、生育地、個体数ともに極めて少なく、草地開発で消滅した生育地が多い。現存している生育地も、植生遷移の進行に伴って生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。**県内分布** 九重火山群**分布域** 北海道 本州(山地) 九州(大分)
樺太 千島 ,カムチャッカ ,アムール ,ウスリー 朝鮮半島(北部) 中国(東北部)**生育環境** 低山地や山地の泥炭湿原。**現 状** 火山性高原での生育地は、ほとんど消滅している。**備 考** 叢生して株が発達し、顕著な谷地坊主をつくる。北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、本県は、分布の南限域にあたる。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]。**オニナルコスゲ***Carex vesicaria* L.カヤツリグサ科
Cyperaceae**カテゴリー**大分県 IA
環境庁 掲載なし**選定理由** 県内では池畔の水湿地に群生しているが、生育地は局限し、水位の変化や池の水生植物と競合して生育状態が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。**県内分布** 九重火山群**分布域** 北海道 本州 九州(大分・宮崎)
北半球温帯**生育環境** 低山地の水湿地。**現 状** 近年、生育地への水の供給が悪化し、カサスゲと競合して個体数が著しく減少している。**備 考** 北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、九州は、分布の南限域にあたる。**ツクシオオガヤツリ***Cyperus ohwii* Kükenth.カヤツリグサ科
Cyperaceae**カテゴリー**大分県 IA
環境庁 IB**選定理由** 最近、本県でも河岸に野生状態で生育していることが確認された。生育地は狭く、個体数も僅少である。大水などの環境変化や流失により、絶滅の危険性が極めて高い。**県内分布** 大分川・大野川丘陵地**分布域** 九州(福岡・大分)
マレーシア ,インド**生育環境** 低地の河岸水湿地。**現 状** 入り江状になった河岸に沿って生育し、生育地は狭く、個体数も少ない。最近、定着したもののようである。**備 考** 今後、引き続き生育状態の観察が必要である。